

千葉中央で防波堤設計

船橋地区 護岸や胸壁改良



国土交通省千葉港湾事務所は14日、2023年度の事業概要を発表した。千葉港千葉中央地区では複合1貫輸送ターミナルの整備に向け、岸壁の本体工を進めるほか、防波堤の設計に着手する。千葉港海岸船橋地区では護岸や胸壁の改良に向けた設計や工事が本格化する。

千葉港千葉中央地区の複合1貫輸送ターミナルを整備する計画だ。本年度は整備事業に12億8000万円を配分。貨物需要の増大に伴う内航RORO船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能をもつ複合

盛土規制へ調査

51市町村が対象

県は、盛土規制法に基づき、規制区域の指定に向け、基礎調査に着手する。対象となるのは千葉船橋、柏3市を除く県内51市町村で、面積は4685km²に及ぶ。県地対策調査室は、この調査結果を踏まえ、関係市町村果を踏まえ、関係市町村

県は、盛土規制法に基づき、規制区域の指定を、規制区域を指定する考えを示している。対象となるのは千葉船橋、柏3市を除く県内51市町村で、面積は4685km²に及ぶ。県地対策調査室は、この調査結果を踏まえ、関係市町村果を踏まえ、関係市町村

市長「防災へ連携期待」

CPD研修会を初開催



習志野市インフラ協議会(岩井健会長)は14日、習志野市役所の会議室で、安全管理をテーマとした継続教育研修会を開いた。講師として宮本泰介市長が登壇し、習志野市における危機管理方針について解説。地元事業者とのさらなる連携に期待を示した。インフラ協議会は、習志野市管工事協同組合、電友会から計16社27人の会員が参加。平時の備えの重要性や、いざという時の心構えを新たに示した。

今回の継続教育研修会は、品質の確保を目的とした勉強会を拡充、CPD12単位の取得を目指して



初継続教育研修には16社の27人が参加した



左から講師の宮本市長、亀崎危機管理監、石塚主査

大池エリアを再整備

動物公園 年度内に計画策定



千葉市動物公園大池エリアの位置図

千葉市は、動物公園大池の再整備に向けた検討を本格化する。生物調査の結果を踏まえ、保護の方向性を定め、大池エリアを豊か自然を感じて学べるよう再整備する方針。年度内に再整備計画をとりまとめる。同市は14日、動物公園大池生物調査、再整備計画策定業務について、委託候補を選定する。業務費の内訳をみると、

紙面の
民間 県に大店法2件届け出
公告 汚水施設の包括的管理
入札 日清が国有建物を解体
(大網白里市)
(関東財務局)
6 3 2
入札ナビは、こちらからQRコード

壁の改良や水門整備に向けた調査・設計を予定している。東京湾の海洋環境整備事業に1億5000万円を充てる。清掃油回収組む。

国土交通省利根川下流河川事務所は14日、2023年度の事業概要を発表した。全体事業費は前年度比2%減の64億6400万円を配分している。県内では利根川右岸の銚子市で築堤や樋管の整備を進めていく。

河川改修費は前年度とほぼ同規模の27億0700万円、河川維持修繕費は前年度比3%減の18億9300万円、河川工物関連緊急対策事業費は同17%減の1億5000万円、堤防維持費は同6%増の15億3800万円、増の15億3800万円、総合水環境整備事業費は同38%減の億7600万円となっている。

利根川下流部では、流下能を向上させるため、銚子大橋付近の銚子市本城町地区と茨城県神栖市波崎地区で河道掘削を実施する。利根川水系における流域治水の一環として、利根川右岸を整備する。銚子市森戸町地区で築堤や樋管、水路の整備、同市長塚町地区で築堤や樋管の整備のほか、用地の取得を進めていく。

利根川左岸では、茨城県神栖市矢田地区で築堤や水路の整備、用地取得を実施。同市波崎地区で築堤や排水管の整備を推進する。

茨城県利根川の押付地区、洪水時に水防活動などの拠点となる河川防災ステーションを整備する。整備用地の取得を本格化する。

利根川下流部の自然を再生するため、銚子市船木・椎葉地区で、ヨシ原再生工事を実施。また、先行整備した香取市小見川・高浜地区などでモニタリング調査を続ける。委託事業者を選定する。我孫子市水道局は、水道事業基本計画及び経営戦略(後期)見直し業務の委託事業者を選定する。我孫子市水道局は、水道事業収益や費用について計画値と実績値を乖離が見られるようになったため、現行計画(計画期間2019～28年度)の中間見直しを進める。予定価格は2613万6000円(税込)。履行期限は2024年3月まで。

参加資格は、我孫子市入札参加資格者名簿の「測量・コンサルタン」上の業種コード「306(土木・水道及び工業用水道)」に記載されていること。

企画提案書を17日(5月10日)に受け付け、書類審査の結果を16日までに通知。ヒアリングを23日か24日に実施し、審査結果を25日までに通知する予定だ。

道路公社は14日、2023年度の発注予定を公表した。工事5件、業務委託2件の計7件を盛り込んだ。第2四半期に九十九里有料道路などの橋梁修繕工事を発注する方針だ。

道路外橋梁修繕工事(断面修復他)、九十九里有料道路では桁橋3橋、溝橋4橋で断面修復や表面被覆工、東金九十九里有料道路では桁橋2橋で漏水対策、銚子新大橋で漏水対策を進めていく。工期は6月を見込む。

指名競争入札では、九十九里有料道路で投下防止柵の補修や法面の整形、千葉外房有料道路で照明灯の修繕や道路情報板の撤去などの工事を計画している。

業務委託2件は全て指名競争入札となった。第一四半期に九十九里有料道路などの路面性状調査と九十九里有料道路の橋梁定期点検を委託する方針だ(詳細は道路公社ホームページ参照)。

建設工事 未来へ続く地域貢献
丸信工業株式会社
長生郡白子町牛込 3909 番地の6
TEL0475-33-3521 FAX0475-33-3522

《船橋市》
本庁舎にCN都市ガス
船橋市は、本庁舎で使用する都市ガスを、カーボンニュートラル(CN)の都市ガスに切り替えた。京葉ガス(市川市)と締結した「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」に基づき、取り組む。天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、環境保全プロジェクトにより削減されたカーボンクレジットで相殺することにより、発生するCO₂が実質的にゼロとみなされる。市では、カーボンニュートラルの都市ガス導入が、環境問題の解決に向けた、市民の意識向上につながることを期待している。

同市の本庁舎は、年間約20万5000m³の都市ガスを消費。杉の木約6万本が1年間に吸収するCO₂量が匹敵する。CO₂を排出している。そこで、市では、地球温暖化対策実行計画を策定、指すとしている。

公共施設の脱炭素加速
ゼロカーボンシティ推進室を設けるなど、地球温暖化問題の解消に向けた取り組みを進めている。

今年10月からは、本庁舎で使用する電力を、市内清掃工場の廃棄物発電と再生可能エネルギーの電力で賄う予定で、電力とガスの使用に伴って本庁舎の二酸化炭素排出量は実質ゼロになるという。

今後は、本庁舎以外の公共施設についても、CNガスの導入などを検討し、ゼロカーボンシティの実現を目指すとしている。

計画見直し
プロボ公告
我孫子市水道局
我孫子市水道局は、水道事業基本計画及び経営戦略(後期)見直し業務の委託事業者を選定する。我孫子市水道局は、水道事業収益や費用について計画値と実績値を乖離が見られるようになったため、現行計画(計画期間2019～28年度)の中間見直しを進める。予定価格は2613万6000円(税込)。履行期限は2024年3月まで。

ビジネスカーのことなら、千葉トヨタにおまかせください!

プロボックス ハイエースバン

詳しくは店頭、またはwebで!
まずは 千葉トヨタ 検索 www.chibatoyota.co.jp

建物をシステムで考える立川ハウス

プレハブ建築総合メーカー 施工・リース

社団法人プレハブ建築協会会員

立川ハウス工業株式会社 千葉営業所

千葉県中央区新田24-9 千葉ウエストビル3F
電話 043-243-2902 (代)
FAX 043-243-7641